

予 算

◎令和5年度白石市一般会計 補正予算(第8号)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1億1千162万4千円を増額し、予算の総額を211億4千291万2千円とするものです。主な内容は次のとおりです。

○住民主体の地域内交通事業
(人と地域が輝く未来共創交付金) 15万円

○緊急自然災害防止対策事業 2千100万円

【債務負担行為】

●PFIによる道の駅・防災公園整備運営事業

【期 間】令和5年度～24年度
【限度額】62億9千59万2千円

◎令和5年度白石市一般会計 補正予算(第9号) (定例会最終日提案)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ2億8千911万9千円を増額し、予算の総額を214億3千203万1千円とするものです。

人事院勧告に準拠した給与改定に係る人件費、組織再編に関連する執務環境整備の経費、物価高騰対策給付金給付事業費などを計上しています。

本会議質疑より

◎組織再編に伴う関係条例の整備に関する条例

【質疑】こども家庭センターの設置に併せた組織再編とのことだが、市民、行政にとって、どのような効果が期待できるのか伺う。

【答弁】「子育て支援課」「こども家庭センター」を設置し、子育て支援施策を集約することで、妊娠から18歳までの支援を切れ目なく行うことができるようになる。また、現在、総合福祉センターで行なっている家庭相談や児童扶養手当の手続きも、市役所内でできるようにする。

このほか、「こども未来課」を隣に配置することで、保育園・幼稚園の入園手続きや児童手

当など、子育てに関する手続きが1カ所で行えるようになる。

これらにより、関係部署の連携が一層強化され、子育て世帯の利便性の向上が図られるものである。

【質疑】現在の市民生活課を「市民課」と「環境課」に再編する理由を伺う。

【答弁】全国的に再生可能エネルギー発電設備の設置が増加し、山林伐採や景観破壊などが問題となっていることから、本市では白石市自然環境等再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例を制定し、自然環境と生活環境に配慮した事業の推進を図ることとしている。また、地震等の災害発生時には、被災家屋の取り壊し支援など、早急な災害復旧にも努めなければならないことから、これらの取り組み体制を強化するため、新たに「環境課」を創設するものである。

【質疑】白石市職員定数条例を一部改正し、職員の定数を410人から390人にするとのことだが、20人減となることにより、市

第108号	令和5年度白石市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
第109号	令和5年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
第110号	令和5年度白石市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
第111号	令和5年度白石市下水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議 員 提 案		
第7号	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書	原案可決

民サービスの対応に支障が生じないのか伺う。

【答弁】令和5年4月1日現在の職員数は34人であり、現行との開きがあることから改正を行うものである。

退職者の補充分として、職員採用の内定を出しても辞退する方がいるため、なかなか充足できない現状にあり、職員の負担も増えている。

業務効率化のため、窓口等の業務を一部委託しているが、委託業者が撤退するといった場合等にも備え、定数を390人とするものである。

市民生活に影響が出ないようということが大前提である。

◎令和5年度白石市一般会計 補正予算(第8号)

【質疑】緊急自然災害防止対策事業の測量設計等委託料に2千100万円を計上しているが、詳細を伺う。

【答弁】国の緊急自然災害防止対策事業債を活用し、福岡地区の市道陣場ヶ丘4号線と市道鎌先街道線の法面对策を実施するものである。

この2路線は幹線道路等と連結しており、地域では主要道路として利用されている。また、福岡公民館など公共施設への避難路や、福岡小・中学校の通学路となっていることから、災害防止対策を行い、利用者の安全安心を確保するものである。